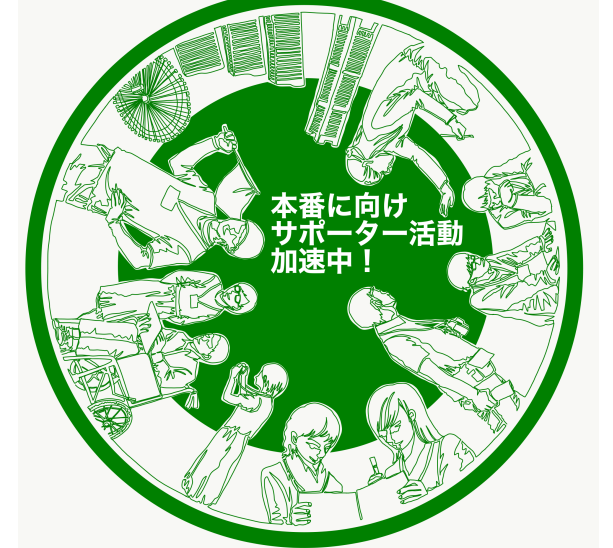


# ヨコトリツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!'s フリーペーパー Yoko-Treats!  
Mar.2017 THE SECOND SEASON Vol.03  
[通巻15号]



本番に向け  
サポーター活動  
加速中!

「ヨコトリツ!(Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「ハマトリツ!」による手作りのフリーペーパーです。「トリツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があります。横浜のいいもの、楽しいものをお伝えしたいということで名付けました。ハロウィンの決まり文句「Trick or Treat!」(「トリックオアトリート」)＝お菓子をくれなきゃイタズラをするぞ!から連想して、みんながワクワクするような情報交換の場を目指します。



ヨコハマトリエンナーレ2017「鳥と星座とガラパゴス」  
会期: 2017年8月4日(金)～11月5日(日) ●第2・4木曜日休場 | 主催: 横浜美術館/横浜赤レンガ倉庫1号館 | 公式WEBサイト: <http://www.yokohamatriennale.jp/>

## サポーター活動に参加したい! と、思ったら...

**ハマトリツ!はヨコハマトリエンナーレ2017に向けて活動中!**  
アート好きに限らず、横浜の街に興味がある、デザインや写真が得意、イベントの企画・運営に関わってみたい...などなど、様々な方向性に関心のある人たちが集まって活動しています。  
サポーター活動に参加して、ヨコトリツ!と一緒に盛り上げていきませんか?!

**自主活動**

《交・観・繋・支》をテーマに、ヨコトリツ!2017を盛り上げるオリジナルイベントを自分たちで企画・実践していきます。

**7つのグループが活動中!**

月に1度、横浜美術館に集まって活動をしています。新しいメンバーを随時募集中!  
会期前からイベントの企画・準備、制作物のデザイン、撮影など活躍の場面はたくさんあります。詳しくは本号の特集をチェック!!

主な活動はこの2つ!

会期前から着々と本展に向けて準備中!

**プログラム活動**

来場者をおもてなしするビジターサービスセンターの運営や、作品制作のサポートなど本展に合わせて展開していく活動です。

**ガイド活動プログラム**  
(募集は終了しています)

**参加作家のプロジェクト支援**  
(プロジェクトごとに募集予定)

**ヨコハマトリエンナーレ2017 会期中の活動 (8/4～11/5)**

**自主活動**

たくさんの自主企画で展覧会を応援!

- ・サポーターズサロン
- ・ワークショップ
- ・まち歩きイベント
- ・フリーペーパーの発行
- ・全国芸術祭サポーターズミーティング などなど

**プログラム活動**

ビジターサービスセンター運営(随時募集予定)


団体向け事前ガイダンス/ギャラリー・ツアー  
(ガイド活動プログラムへの参加が必要です※募集終了)

その他運営サポート(本展に応じて募集※現在未定)

**サポーター活動始めるには...まずサポーター登録を!**

ハマトリツ!公式ウェブサイトからサポーター登録をすると登録アドレスにメールニュースが届きます。メールニュースではハマトリツ!の活動に関する最新情報のほか、近隣施設でのイベントなど様々な情報を配信しています。中にはメールニュース限定のお知らせも!!

※登録前の活動見学もできます。



ハマトリツ!公式WEBサイト

横浜トリエンナーレサポーターHama-Treats!'s フリーペーパー「ヨコトリツ!」THE SECOND SEASON Vol.03 [通巻15号]  
●企画・編集: 横浜トリエンナーレサポーター ハマトリツ! 情報発信G (青木邦彦 / 上田良寛 / 鏡知代 / 中島修一 / 平本晶子 / 松本敦) ●カバーアート: 鏡知代 ●発行日: 2017年3月20日 ●発行元・お問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局 (横浜市西区みなとみらい3丁目4-1 横浜美術館 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内 TEL: 045-228-7816 MAIL: info@yokotoritsu.com) ●ハマトリツ! (横浜トリエンナーレサポーター) 公式WEBサイト: <http://www.yokotoritsu.com>

次号予告 **いよいよ明らかになる出展作家!** 2017年5月 発行予定

ヨコトリツ!

REPORT

THE SECOND SEASON Vol.03

2017/1/15 ヨコハマラウンド ラウンド1

2017/1/25 トリエンナーレ学校2017 Vol.9

### 0と1の間には忘却の海がある?

### 羨ましい「集まれる場所」

ヨコハマトリエンナーレ2017の会期に先立って、様々な分野の専門家を招いて議論を重ねる公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」が開始されます。公式サイトには「人間の想像力や創造力の可能性について思考をめぐらせる」という目的が書かれていて、これまでにない取り組みと言えます。1月15日にその1回目「ラウンド1-0と1の間にあるアート>」(登壇者: 養老孟司氏、布施英利氏)が行われました。

1月25日、AISブランニング代表 漆崇博さんが『アートで地域をつなぐ活動に見る創造性』をテーマにお話されました。漆さんは、札幌国際芸術祭2014 (SIAF 2014) で市民と芸術家が共同で札幌の魅力を紹介する観光ツアー「旅プロジェクト」を企画し、芸術祭来場者に体験してもらいました。そして、アクティビティ拠点プロジェクトとして、札幌市資料館をボランティアセンター/案内センターなどに活用しました。そのうちSIAF編集局では、互版(フリーペーパー)/壁新聞/ネットで情報を発信。カフェは、サポーター活動後も集まれるよう、資料館閉館後も開けました。芸術祭終了後、資料館でSIAFラボを始めました。SIAFラボは、市民と一緒に札幌らしい芸術祭を考えるプロジェクトです。芸術文化活動する人々による講座や、芸術の理解を深めるために、テーマや作品についてみんなで話し合うアートカフェin資料館というイベントを開きました。札幌の文化を多方面から分析・編集するSIAFラボ編集局を始めました。ただいま、次の芸術祭に向けて、活動中!!

話を聞き、心に感じたのは「市民と一緒に地元密着した芸術文化活動」と「いつでも集まれる場所という存在」の2つです。特に「集まれる場所の存在」は、横浜にはそうした所がなく、間借りばかり。情報発信グループの私としては、編集局の壁新聞が一番気になります。(平本)

前半は養老孟司氏の基調講演「0と1の間にあるアート」。タイトルから、0と1のデジタルの世界に対して、アートはアナログの世界で人間の...という話だろうと想像しましたが、人間の認識、心の理論、脳神経回路、科学の歴史といった博識に裏打ちされた話が次々に出てきて、ついていくのがやっとでした。人間は感覚では違うものを同じと認識できる。等価交換の概念をもつ。これが貨幣を産み、効率の良い社会、同じものが大量に生産される文明を発展させてきた。グローバル化も世界を同じにするという意味で、どこに行っても都市では同じ景色が見られる。それに対して、人は一人一人違うし、違うことを主張する。アートは感覚の世界のもので一つ一つが異なるものであり、ここにアートの存在意義がある。

前回展では、タイトルに「世界の中心には忘却の海がある」とあり、忘れ去られた大事なものを思い起こすことが主眼でした。今回は、0と1のコピーの世界から抜け落ちた大事ななものとして「アート」を見直すことを目指しているのではないかと感じました。後半は養老孟司氏と布施英利氏の対談。布施氏が話題を出し、養老氏がそれに応えていくという形で進みました。学生の研究発表に対して教授が講評を加える感じになっているのが面白く感じました。ヨコハマラウンドは今後も1ヶ月が2ヶ月に1度程度開催されることになっています。ヨコトリツをより深く楽しむためのヒントが盛り込まれたこの人気イベント、「展覧会の付属ではなく、今回のヨコハマトリエンナーレの大きな柱の一つ」ということなので、皆さんも案内をチェックして参加してみたいかがでしょう。本紙でもできるだけとりあげていきます。(上田)



撮影: 加藤健

2016/12/18 ハマトリツ! マッチングワークショップ

### マッチング当事者(汗) レポート

ハマトリツ!全体が集まる活動日が毎月1回日曜日にあります。初めて参加する方がスムーズに溶け込めるよう、全体の説明、各グループを回って活動を知るツアーなど、活動支援グループがサポートしてくれます。12月18日は通常に加え「マッチングワークショップ」として新たな取り組みがありました。それが「仮配属」です。当日初参加で情報発信グループに仮配属になった松本さんにレポートしてもらいます。

今回のマッチングワークショップのイベントは大きく3つに分かれていました。

はじめに新人参加者同士、二人一組になって、お互いの印象やイメージを絵にし、その絵を元に缶バッジを作成します。印象やイメージを表現し、共有することで、お互いを(ほんの少しですが)理解することが出来た気がします。

次に新人参加者は各グループからの簡単な説明を受け、仮配属先を決めました。私の場合、少しでも役に立てる配属先はないかということ、カチに残るものを作りたいという理由で情報発信グループを選びました。そして缶バッジがきっかけで会話が弾み、スムーズにグループに馴染むことができました。

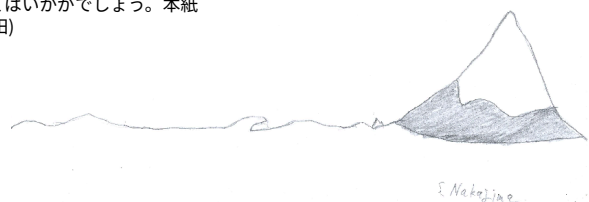
最後は新人参加者による1.5ヶ月の仮配属。仮配属先では、参加者それぞれが配属先の課題に取り組むことになりました。

私の課題は「このマッチングイベントの記事を書くこと」。それがこの記事です。そしてこの記事は、皆さんから頂いたご指摘をもとに完成させることが出来ました。こういった活動は自分の成長にも大いに役立つと思っています。だから、これからも楽しみながらやっていきたいと思えます。

そしてこの記事が、他の仮配属の人たちやこれから参加を希望している人に、少しでも入りたい!と感じていただければ嬉しい限りです。(松本)



課題決定の発表の様子



# 木になる・気になる… アクティビティをチェック!

ヨコハマトリエンナーレ2017でのサポーター活動は多岐に渡りますが(裏表紙参照)、会期1年前から始動していたのが「自主活動」です。高校生から70歳代まで、個性豊かなサポーターたちが、バラエティに富んだグループ活動を行っています。各グループの皆さんにその魅力をアピールしていただきました。あなたに合った活動もきっと見つかるはず!

## ～真っ暗闇体験を振り返る～

アートアクセシビリティグループは、美術館や現代アートの展覧会へ精神的・身体的なハードルを感じている人にヨコハマトリエンナーレ2017へ気軽に来てもらえるようになることや現代アートに親近感を持ってもらえるようにするためには、どうするかを考え実践していくグループです。

今回は、過去にグループ内でおこなった真っ暗闇体験について振り返りたいと思います。真っ暗闇体験は、視覚に頼らない立体物の認知を実体験、「触察」によるアート鑑賞の可能性を探るためにおこなったものです。グループ内での簡易的な取り組みでしたので、各自適当な立体物を持ち寄り、照明を落とし目隠しをした状態で、他の人の持ってきた立体物を触り、粘土で同じ形を作りました。制作時間は30分ほどでしたが、視覚に頼らないことで、他の感覚がより引き立ち、制作に集中しながらも他の人との会話も楽しめました。

制作後は、出来上がった作品を見ながら、感想を話し合いました。真っ暗闇での粘土作品作成は、視覚障がい者の人も一緒に取り組みやすい制作活動だと考えていますが、この取り組みで一番盛り上がったのは、やはり制作した作品をみんなで見るときでした。全盲の方々と取り組む場合は、そこで大きな差が生じるので、なにか良いアイデアがあるといいなと思っています。

## 「はじめまして、料理部です」

サポーターの料理好きが集まって新たなグループが誕生しました。

私たち料理部は「食」を通じて、観客の皆さんやサポーター同士に交流を深めてもらい、横浜トリエンナーレにもっと親しみを持ってもらえるよう、イベントの開催やPR活動を行うことを考えています。

そんな料理部では超絶絶頂のメンバー募集中!料理好きなあなた!食べるの大好きなあなた!テーブルコーディネイトやポスター作りがやってみたいあなた!やってみたいことを実現する場がここにはあります。是非!!

### 料理部活動第1弾!

4/1(土)~2(日) 大岡川桜まつりへ出店いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

## 【観る・学ぶグループ】

ヨコトリにいらした皆さまに、鑑賞+αの体験をお持ち帰りいただきたい!という思いのもとに活動している「観る・学ぶ」グループです。

今月は、ヨコトリのことをクイズ形式で楽しみながら知ってもらう「ヨコトリ検定」のプロトタイプ版を作成しました。

今年初めてヨコトリに来られる方向けの問題難、ヨコトリフリークもうなるほどの難問、今年のヨコトリならではの問題まで、様々な問題が出揃いました。「観る・学ぶ」メンバーも「へー、知らなかった!」と驚くようなトリビア的な設問も。

これから、ハマトリーツ!のメンバーに解いてもらいつつ、ブラッシュアップして行こうと思います。ヨコトリの会場で見ついたらぜひ挑戦してみてくださいね!



このような企画と一緒に作っていただけるメンバーをまだまだ募集中です。ぜひ一緒にヨコトリを盛り上げましょう!

## 横浜らしさを追求する「時をかけるヨコハマ」グループ

私たちのグループは、新・旧横浜市民や旅行者、横浜を良く知る人にも知らない人にも横浜らしさを伝えることを目標に活動しています。予定の成果物は横浜トリエンナーレなどで配布するリーフレットとホームページ。

ところで横浜らしさって何でしょう。私たちはキーワードを選び、それを地理・歴史・美術などの視点を相互に絡めた四次元的路上観察を実施、観察の事前・事後に資料調査を併せて掘り下げます。

例えば多くの人を訪れる山手。かつて居留地に住んだ外国人たちはプラフと呼びました。プラフは崖を意味しますが、山手居留地を指す固有名詞でもありました。関東大震災は居留地にも壊滅的な被害をもたらしましたが、今に残るものも少なからずあります。失ったもの、残ったもの、それら全てが横浜らしさを生み出しているのではないのでしょうか。

路上観察から成果物制作までの過程で、あなたのできそうな作業と一緒にやりませんか。成果物を通して多くの皆様をおもてなししませんか。右図は今までの路上観察エリアの一部です。



地図 <http://www.craftmap-box-1.net/>

## 「日本中の芸術祭を楽しみたい人、募集。」

遠足グループでは、9月ごろに札幌国際芸術祭2017への遠足を企画します!横浜からちよつと遠いからってあきらめてないでみんなで行きませんか?一緒に旅をつくる仲間、募集中です!

遠足グループ

## The Road to "Yoko-Treats!"



それでも楽しい情報発信グループ!

ハマトリーツ!の活動には、どなたでもお気軽にご参加いただけます。この記事を読んで気になる活動が見つかったあなた、裏表紙の「サポーター活動に参加したい!と思ったら…」をご覧ください!

# ポプ宣言

二〇一七年二月九日  
活動支援グループ一同

ハマトリーツ!よ、

ポップであれ。

ここで、我々は一つの宣言をする。

ガラバゴス化するハマトリーツ!に負く。我々、活動支援グループは、ハマトリーツ!によるハマトリーツ!のためのグループである。ハマトリーツ!のグループ活動は一つの島のようには豊かであり、数多の星のように多様である。我々には、それらをつなぎ、ハマトリーツ!にしかできない一つの星座を描こうとしてきた。しかし、それはいま叶わぬものになりつつある。ハマトリーツ!は、硬直し、ガラバゴス化しているように思う。この危機に立ち向かうためにはどうすればよいのか?